

慢性呼吸器疾患看護認定看護師の活動について

慢性呼吸器疾患看護認定看護師

山口 良子



皆さま、はじめまして。私は、2020年12月に慢性呼吸器疾患看護認定看護師の資格を取得しました。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、定期期、増悪期および人生の最終段階における慢性呼吸器疾患^{注)}患者さんとその家族のQOL向上にむけて、熟練した看護技術や知識を持ち、看護実践できる看護師です。

慢性呼吸器疾患患者さんの中には、普段の生活の中で「息切れ」を感じる人もいます。息切れは、思うように動けず日常生活を妨げ、周囲の方には分かりづらく、身体的・精神的に苦痛を生じてしまいます。そのような慢性的な呼吸器疾患を抱える患者さんとご家族の気持ちに寄り添い、その人らしい生活を過ごすことができるように、ともに考え方支援していくことが、私の役割と考えています。今回は、私の活動についてご紹介したいと思います。

COVID-19 病棟で奮闘中！

現在私は、COVID-19病棟で勤務しています。患者さんは、COVID-19病棟の閉鎖的な環境の中で、発熱、強い咳や呼吸困難、重症化しないかという不安を抱えながら治療に専念しなくてはなりません。そのような患者さんの気持ちを汲み取りながら、息切れをコントロールする方法や腹臥位療法の指導、呼吸器リハビリテーションの実施、退院後の生活についてのアドバイスを行っています。

また、COVID-19の重症化リスク因子に「喫煙」「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」があります。喫煙歴のある方の中には、初めてCOPDと診断される方、中には吸入療法や在宅酸素療法（HOT）が必要となる方もいます。COPDの進行を防ぐためには早期発見と早期治療、そしてまずは禁煙!!患者さん自身が病気と向き合いうまく付き合っていく方法を身につけることがとても重要です。そのため、COVID-19の症状が落ち着いたころ、病気についての患者教育、吸入療法や在宅酸素療法についての指導など、患者さんが病気を抱えながらも安心した生活を過ごしていくようにセルフマネジメント支援を行っています。

最後に

私はまだまだ未熟ですが、多職種のみなさんや病棟スタッフと協働し、患者さんの苦痛を少しでも和らげるよう、寄り添いながら呼吸ケアを提供できればと思っています。入院された際に困っていること、悩んでいることがありましたら気軽にご相談ください。

注) 慢性呼吸器疾患とは、COPD（慢性閉塞性肺疾患）、間質性肺炎、気管支喘息、気管支拡張症、肺結核後遺症、非結核性抗酸菌症、肺線維症、睡眠呼吸障害等など。